

DATA SCIENTIST FES 2018

DATA SCIENTIST FES 2018への特別協力

滋賀大学は、日本経済新聞社が主催するDATA SCIENTIST FES 2018（2018年11月13日から12月14日の約1ヶ月に渡って開催）の特別協力団体として参加しました。

近年、人口知能（AI）やIoTの進化により、データの利活用は、IT分野に留まらず金融や医療、農業などあらゆる業界で実用されています。データにビジネス的な意味を見つけ出し、新たな経済価値を生み出すデータサイエンスは、多くの企業のビジネス変革を実現するところで、今後の企業収益を向上させる上で、必要不可欠な取り組みです。

しかしながらその担い手となる“データサイエンティスト”と呼ばれる人材は、高まる需要に反して世界的に不足しており、特に日本は、この分野における人材育成が遅れています。

このような問題に対し、DATA SCIENTIST FES 2018は、日本のデータリテラシーを高め、ビジネス分野におけるデータ利活用の礎にすべく、産官学が連携しデータサイエンティストの育成と活用について考えるプラットフォームとして期待されています。

オープニングフォーラム 変化の先へ ～データ利活用が生み出す社会・ ビジネスと実現に向けた課題～

2018年11月13日（火）に日本経済新聞社主催の「DATA SCIENTIST FES 2018」のオープニングフォーラムが東京・日比谷にて開催され、400名にも及ぶ参加者を迎えて盛大に行われました。本学連携企業等からは十数社、約30名に参加いただきました。

オープニングフォーラムでは、データ人材育成の課題を共有、デジタルシフトを進めるデータ先進企業の事例や大学の最新研究などの紹介が行われました。

特別協力している本学は、特別セッション「産学連携で進めるデータサイエンティスト育成」において、竹村彰通データサイエンス学部長及び本学連携企業を代表して㈱SMBC信託銀行 町田大樹氏、東レエンジニアリング㈱ 米元雅裕氏に登壇いただき、今夏に実施したデータサイエン

ス学部2年生の長期インターンシップ（1か月間）や共同研究を通じた社員人材育成等、本学が行う人材育成について紹介いたしました。

また、フォーラム終了後に開催された懇親会において交流を深め、データサイエンティスト育成に向けた産学のコミュニティが形成されたところです。

本学は、今後も、国内最高水準のデータサイエンス教育研究拠点として、データサイエンティスト育成を推進し、社会貢献を行ってまいります。



挨拶を述べる竹村 DS 学部長



特別セッションの様子
(左から、笛田 DS 学部教授、竹村 DS 学部長、
町田大樹氏、米元雅裕氏)